

門沢橋小学校 学校運営協議会 議事録
(令和5年度 第2回)

- 1 日時 令和5年10月30日(月) 13:30~15:00
- 2 場所 門沢橋小学校 家庭科室
- 3 出席委員 牛村忠雄会長、大澤均委員、佐川瀧三委員、大島千佳委員、
米山恵委員、鈴木美由紀委員、武井友勝委員、大河原俊一委員、
青木賢一委員、壁島武委員、後藤純子委員、土谷政巳委員

4 会議の内容

- (1) 会長挨拶
(2) 学校長挨拶
(3) 報告事項

①海老名市コミュニティースクール連絡会

10月23日(月)市役所で開催

9年間を見通して中学校区でコミュニティースクールを行えないかという話だった。

<出席した委員からの意見等>

- ・会合の趣旨が不明だったが、中学校区の学校・PTA・地域を結びつける運動ということだろう。
- ・趣旨がよくわからない。ねらいが不明確で、中学校区で何をやるのか、説明もなかった。何年もやっていたというけど、あのスピード感では、学校は少しも良くならない。情報の公開も少なかった。
- ・学校運営協議会=コミュニティースクール。この学校運営協議会を大きくしたものが、あの場だったのだと認識している。海老名の1/3が南部の有馬中学校区。中学校区で考えていきましょうと認識している。
- ・「今の子どもは学校だけでは育たない」というテーマが提示された。地域の方の力を、どのように子どもを育てることに活用できるか。「子どもの課題と地域の良さ」と言っても、現代的な子どもの良さは分からないことがある。南部の地域の方は、とても協力的だということは言われている。

(4) 議事

①全国学力学習状況調査結果 ※情報提供

校長：＜門沢橋小学校の結果、傾向等を説明＞

- ・ここ数年の門沢橋小学校6年生の傾向は、同じような感じか？

校長：ICT関係等、変化するものがあるものの国語・算数は同様の傾向が続いている。

- ・学校として同様の傾向があるのなら、学校としての対応が必要なのではないか。
- ・話すことが好きな子が多いものの、語彙力豊かに伝えたり、書いたりすることに難しさがある。読書等の時間を設定したりしている。子ども達は、学校の学習自体は楽しく感じている。
- ・このような背景があるから、校内研究に国語を取り上げているのか。

校長：昨年から校内研究を国語にして、力を入れている。

- ・秋田県は上位。秋田から来た先生が国語を担当したら、国語が好きになったという子どももいる。
- ・国語や算数について全国的な傾向はないか。

教頭：全国的な傾向はつかめていないが、この学力学習状況調査の順位を上げるために、本来の教育目標から外れて事前対策等を行っているということが、過去に問題になったことがある。

- ・家庭学習（宿題）は学校ごとに行われているのか？

校長：学校ごとに宿題を出している。一般的には「学年×10分」を推奨している。

- ・質問紙にある「自分の良いところがある」などの回答の分布はどうなっているか？

校長：平均に対して+10、-10は特徴として扱っている。

- ・全国学力学習状況調査には問題はあるが、地域のランク付けになると、教育の本質が失われる。
- ・「還暦の祝い」で、子どもの地域差を感じた。

海老名中の子どもは、アイデアを出すのが、本番では裏方に回る。

有馬中の子どもは、出されたアイデアを面白くして、本番は司会などで表に出てくる。

有馬中学校区の良いところを大事しながら、学習にも力が入れられたら。

②運動会についての感想

- ・運動会は、学校が地域にアピールする場でもある。
- ・昔とずいぶん変わった。敬老席がなくお年寄りは大変だったようだ。
- ・前は敬老席があった。手押し車のまま、杖のままの方もいた。観覧する場にテント、椅子があるといいと思う。

- ・応援合戦が楽しみ。応援団の子どもたちの緊張感が伝わってくる。
- ・お囃子の時間はなくなってしまったのか？
- ・午前中だけの開催となった。以前はお昼休みの時間に行っていた。
- ・今年度は有馬小学校のみが午後まで行った。
- ・保護者意見として、一日開催は、お弁当づくりと場所取りがあり大変だ。今年度は保護者も8時以降にパラパラと来るだけで混乱はなかった。午前中開催で、短縮・削減された競技があることは残念。
- ・ボランティアを含め、教職員がおそろいのシャツを着ているのは良い。

③目指す姿について「社会的なルール（交通ルールなど）を守る子」

- ・このテーマを提示した理由を学校から説明を。

校長・教頭：門沢橋小学校の学校運営協議会実施計画の「子ども・学校・地域の目指す姿」において示されている。改めて、子ども達の地域での様子を知りたい。

下校時の態度、下校後の公園の過ごし方等、良くない情報は学校に入ってくる。良い情報も知りたい。

- ・体験談として。中野の踏切の西側の横断歩道での、傘差し児童の飛び出し。急ブレーキが必要なほどだった。
- ・下校時に縁石の上に座っている。車の目線からすると危ない。
- ・10月に中野で起きた事故については？

校長：被害児童は今日から登校している。

教頭：＜事故の状況を説明＞

- ・寒川は斜めに交差する道路が多く、区画整理された海老名はまだ良くなったほうだ。
 - ・子どもの動きは読めない。特に下校時の車に対する注意力が必要。門沢橋のセブンイレブンの裏。優先道路関係なく自転車の飛び出し、曲がり角での膨らみ。
 - ・自転車やペダルなしの小さな自転車（？）に乗る子どもの低年齢化。
 - ・下校時の帰り方は危ない。
 - ・登校時についても危なく、登校班の列の広がりや、登校班の中のふざけ、つき飛ばし。「社会的ルール」を身につける必要がある。
 - ・「自分の身を守る」ことを教えていかなければならない。
 - ・しっかり身につけていないと、大人になってから（大きくなってから）も危ない。
 - ・歩行者優先（横断歩道）の意識が高くなり「車は止まってくれるもの」と思っている。
 - ・自転車が、車両の一つならばルールは守らなければならない。
 - ・学校として、地域の中で大人が子どもに注意を促すことはどう思うか。
- 校長：素直な子どもたちなので、繰り返し教えてあげてほしい。
- ・各団体で注意を促していただきたい。

(5) 餅つき大会について

1 1月23日(木) 餅つき大会あり

- ・七五三との重なりが気になる。
- ・特に特別なご案内はないが、可能な方はご参加をお願いします。

(6) 第3回門沢橋小学校学校運営協議会の日程について

令和6年2月14日(水) 13:30～

以上